

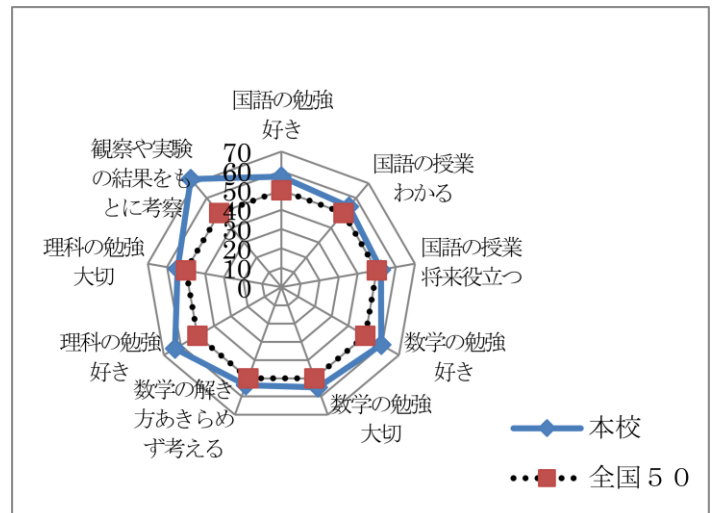
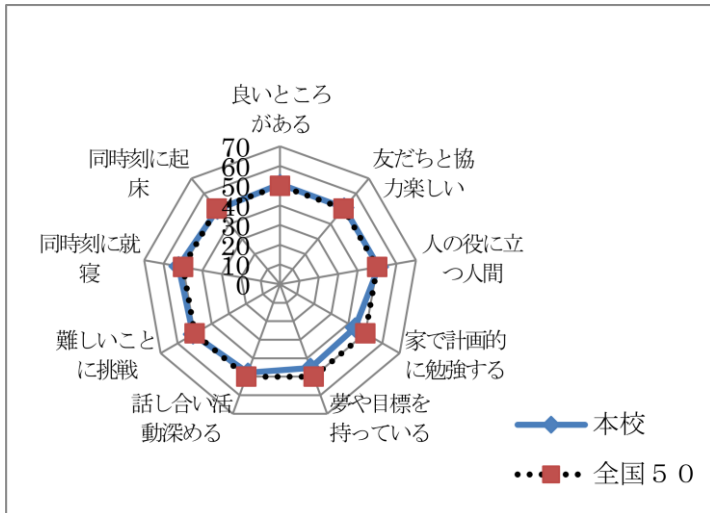
保護者の皆様

### 令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果概要と生田中学校における今後の取組について

日頃より本校の教育活動にご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。本校におきましては、『一人ひとりが自ら学び、思いやりの心と正しい判断力をもって行動できる生徒の育成』を目指して日々の教育活動に取り組んでおります。さて、先般、4月19日（火）に3年生を対象に実施されました全国学力・学習状況調査の各学校の調査結果が配布されました。調査結果をもとに、本校の学校教育目標ならびに学校経営方針を踏まえ、学校づくりに生かす視点から分析を行いましたので、今後の取組について報告いたします。

なお、本調査によって測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校の教育活動の一側面であることが、調査の実施要領に示されております。したがって、本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えいただきたいと存じます。

#### 1 調査結果概要（全国の結果を50とし、それに対する本校の結果を表わしています。）



#### 2 調査結果をもとにした今後の取組

成果   課題   分析   今後の取組  

\* 示している数値・・・「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」の合計数値（ ）は全国の数値

##### (1) 生活に関する調査結果

【昨年度の課題】読書から得られる知識や情報、心の豊かさ、想像力などについて伝え、自分自身の持つ興味や強みを知り、広げることにつながる活動に取り組むたいと考えます。

- ① 自分にはよいところがある 79.3% (78.5%)
- ② 友達と協力するのは楽しい 94.4% (93.7%)

- ① 自分で計画を立てて家で勉強していますか。  
(授業の予習や復習を含む) 52.5% (58.5%)
- ② 学校の授業時間以外に、普段どのくらい読書を読みますか。(雑誌新聞教科書は除く)  
全くしない 52.1% (39.0%)

① ②学校行事などにおいて、協力して活動する場面を数多く設定していることが今回の成果につながったと考えています。また、「自分には良いところがある」は昨年度よりも上回っていることから、自己肯定感が高まっていると思われます。

- ① 計画を立て学習に取り組む活動に課題が見られます。
- ② 読書を全くしない人が昨年度の 58.6% に比べ減少しましたが、今後も読書の大切さを伝える必要があります。

【今後の取組】 学校行事における生徒主体の活動や、授業における話し合い活動の設定などは今後も継続していきます。また、授業や学校生活の中で、生徒が自主的に計画を立て行動する機会を増やしていき、計画的に行動する大切さを伝えていきます。さらに図書館を利用して読書の習慣化ができるように指導していきたいと思います。

## (2) 確かな学力に関する調査結果

### ・国語について

【昨年度の課題】 授業を工夫し他教科との横断も視野に入れ、日常生活に、楽しみをもって「本を読むこと」「文章を書くこと」を取り入れるよう、意識を向上させていきます。

- |               |               |
|---------------|---------------|
| ① 国語の勉強は好き    | 69.0% (61.9%) |
| ② 国語の授業はよくわかる | 85.5% (81.2%) |

- |                                       |               |
|---------------------------------------|---------------|
| ① 国語の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役に立つと思いますか。 | 92.0% (89.7%) |
|---------------------------------------|---------------|

生徒の実態をふまえて様々な題材を扱い実生活との結びつきを意識した授業実践を心がけています。

- ①②言葉や文化の魅力を感じられる活動や生徒の実態に丁寧に寄り添う授業を心がけた成果の表れと捉えます。
- ① 国語の重要性をより実感できるような授業展開や題材の工夫が課題だと考えます。

### 【今後の取組】

昨年度の課題をふまえ、今後も引き続き国語の授業で学習したことを日常生活と結び付け、その必要性和言葉の持つ魅力を感じられるような実践を行っていきます。

### ・数学について

【昨年度の課題】 あきらめずにいろいろな方法を考えられるように、道筋を提示し、自分で考える時間を大切にしながら授業を行っていきます。

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| ① 数学の勉強が好き      | 67.6% (58.1%) |
| ② 解き方をあきらめずに考える | 78.9% (75.2%) |
| ③ 数学の勉強は大切だ     | 91.6% (86.6%) |

- |                         |               |
|-------------------------|---------------|
| ① 問題を解くとき、もっと簡単な解き方を考える | 65.7% (70.2%) |
|-------------------------|---------------|

①②③数学を学ぶことが大切で、社会に出て活用されることを、生徒自身は理解していて、授業も好きな生徒が多いことが分かりました。

- ① 授業で学んだことを、次の学びに生かしたり、別の方法で解けないかと主体的に学んだりする態度は、今後身に付けていく必要があると考えます。

### 【今後の取組】

数学を日常生活と関連させて授業を進めてきたことで、数学の勉強が好きな生徒が多くなったと考えます。授業や学校生活の中で、GIGA 端末を用いた授業実践などを通して主体的な学びをこれまで以上に促進することが、個々の課題の解決に向けた取組につながると考えます。

### ・理科について

- |                            |               |
|----------------------------|---------------|
| ① 理科の勉強が好き                 | 79.8% (66.4%) |
| ② 理科の勉強は大切だと思う             | 81.2% (76.8%) |
| ③ 理科の授業で観察や実験の結果をもとに考察している | 87.3% (78.9%) |

- |                                   |               |
|-----------------------------------|---------------|
| ① 将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか。   |               |
| 関係する職業に就きたいと思わない                  | 46.5% (48.8%) |
| ② 理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える | 52.1% (52.7%) |

①②このアンケート結果から、理科を学ぶ有用性については概ね感じられているように思われます。

③ 実験観察の計画、予想、結果から考察し、事象についての理解を深めることにつながることは実感しています。

①②将来、理科等に関係する職業に就きたいと思える生徒は少ないです。理科的な考えは必要ではあるが、魅力を感じるまでには至っていないようです。

【今後の取組】 理科を学ぶ有用性を感じられるように日常生活にそった課題提示を継続します。中学校での学習が基盤となり、その学習が様々なものの成り立ちや、仕組み、生命や環境に活用されていること、将来につながるなど具体例を用いながら、学習活動を充実させる指導の工夫や改善を図ります。

教育委員会より 「一人ひとりが自ら学び、思いやりの心と正しい判断力をもって行動できる生徒の育成」を目指し、日頃の学習や学校行事などに生徒が主体的に取り組めるよう促していることが、生徒の自己有用感を高めることにつながっているものとうかがえます。今後は、地域と連携しながら、キャリア在り方生き方教育を推進し、生徒がより具体的な将来像を考えることができるよう期待しております。 多摩区・教育担当